

茨城県教育研修センター

「高等学校における特別支援教育の理解推進研修講座」実施

9月21日(水曜日)に『高等学校における特別支援教育の理解推進研修講座』が行われました。特別支援教育の基礎的な知識を身に付け、生徒の困りを見取り、その対応等について考え実践できるようにすることを目的として、県内全域の高等学校の教諭95名が参加しました。

「高等学校における合理的配慮」では、東京大学先端科学技術研究センター教授の近藤武夫先生から、大学進学後の学生支援に関することや高等学校における支援体制を整えること、ICT機器を用いて学ぶことができるようにしていくことについて話をいただきました。NPO法人東京都自閉症協会役員の綿貫愛子さんによる「当事者としての思い」では、自身の高校での実体験を基にして、ICT機器やカラールーラーなどの支援グッズを活用すると学習しやすいことについての話がありました。そのほか、受講者同士で「特別な教育的支援を必要とする生徒への支援」についての研究協議を行い、課題の背景、それに伴う対応策や学級運営上での課題や配慮点など活発に意見を交換することができました。

受講者からは、「様々な経験をした先生方と協議を行ったり、当事者の方からのお話を聞いたりなど、自分だけでは至らなかった考えや価値観に気づくことができた。」「様々な事例を通して、特別な教育的支援が必要な生徒に対しての具体的な支援の方法を学ぶことができた。」等の感想を聞くことができました。

今後も県教育研修センターは、子供たちのよりよい学校生活のために、教職員の研修の充実に努めてまいります。



▲オンラインによる近藤先生の講義



▲綿貫さんの講義「当事者としての思い」



▲研究協議の様子

問い合わせ先

茨城県教育研修センター

特別支援教育課 指導主事 長瀬 敦

〒309-1722 茨城県笠間市平町 1410

電話 0296-78-4437